

04 こども霞が関見学デーを開催しました！

霞が関の各府省庁等が連携して、夏休み期間中に子供たちが広く社会を知る機会を提供し、政府の施策に対する理解を深めてもらう「こども霞が関見学デー」が、今年は7月29日と30日に開催されました。

農林水産省では、2日間で延べ8,669人の来場があり、会場プログラムには多くの子供たちに参加いただきました。林野庁では、子供たちに森林・林業・木材産業の面白さや大切さを知ってもらうために、4つの会場プログラムを実施しましたので、その様子を紹介します。

森のたんけん隊

～森をたんけんして隊員証をゲットしよう！～

森林浴やマウンテンバイクのVR体験ができるプログラムや、講師に森林インストラクターを迎え、森林の働きや樹種ごとの特徴等について学べるプログラムを実施しました。

VR体験をした約1,000人のうち650人に「森のたんけん隊」隊員証を、葉や枝の標本を観察して樹種を当てる「子ども樹木博士」の認定テストに合格した約450人に認定証を授与しました。



もりにあるいろんな木は どう使われている？

多様な樹種の木のボードや木の実、木を薄くスライスしたツキ板やCLTを使った製品等の展示を行い、木の色味や質感の違いなどを実際に見て、触って体感できるプログラムを実施しました。

「どの木が一番重いんだろう？」と子供たちは興味津々に考えており、木材の面白さを知ってもらえるプログラムとなりました。



木づくりチャレンジ！ オリジナルフォトフレームづくり

木のパーツを組み合わせて、オリジナルのフォトフレームを作るワークショップを開催し、2日間で50人以上の子供たちが製作に挑戦しました。

子供たちは職員に作り方を教わりながら、「このパーツはどうやってくっつけるんだろう？」と真剣な表情で取り組んでいました。



おやまの小さななかまたち ～食べておいしいきのこたち～

原木に生えているしいたけ、菌床栽培のえのきたけ・ぶなしめじの触感体験やきのこの人気投票、炭製品の展示など特用林産物と触れ合えるプログラムを実施しました。特に職員が製作した「竹琴」は実際に叩いて音色を楽しんでもらい、子供たちに大人気でした。



また、6月30日から特設ウェブサイト「マフ塾2026」がリニューアルして公開されています。林野庁では、『「木づくり」しよう～木を使うのは良いこと？～』と題して、子供にも分かりやすい情報や森林(もり)の環(わ)応援団のサザエさんとの対談動画などを掲載しています。当日ご来場いただけなかった方や農林水産省に興味のある方は、ぜひご覧ください。

マフ塾2026 ▶

https://www.maff.go.jp/j/kids/kodomo_kasumi/2026/juku/index.html



「木づくり」しよう！
木を使うのは
良いこと？



【緊急対談】農林水産省×フグ田サザエ氏
BUZZMAFF ばずまふ (農林水産省)
しげん、じゅんかん、やくつろ、もり、わおらさんだん
森林資源の循環や森林が果たす役割について、森林の環応援団のサザエさん